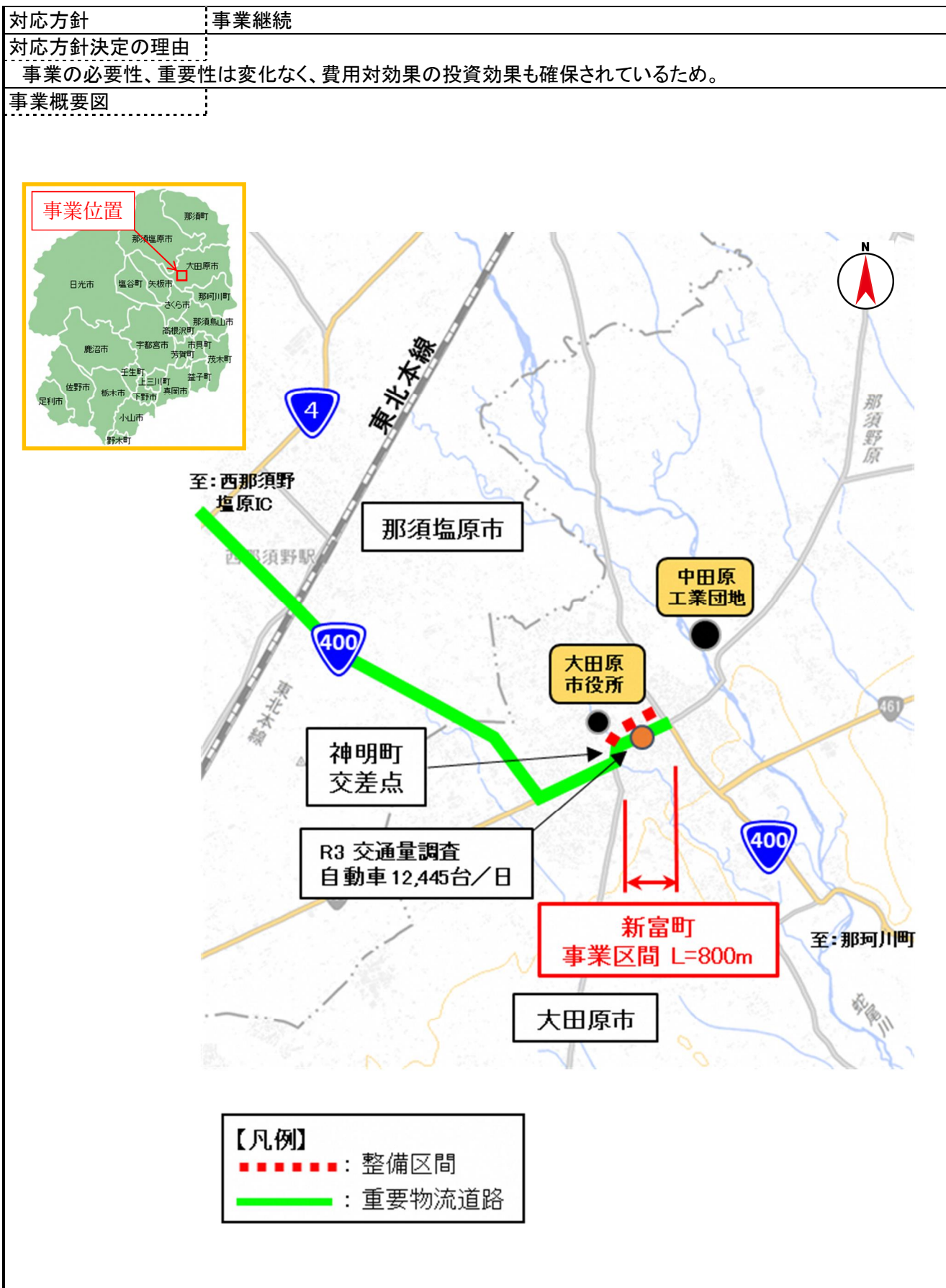


再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担当課:道路局 国道・技術課

担当課長名:西川 昌宏

事業名	重要物流道路 一般国道400号 新富町			事業区分	一般国道	事業主体	栃木県	
起終点	自：栃木県大田原市新富町 至：栃木県大田原市末広					延長	0.8km	
事業概要								
一般国道400号は、茨城県水戸市を起点とし、大田原市を經由して福島県西会津町に至る広域道路であり、事業区間は平常時・災害時を問わず安定的な輸送の確保する重要物流道路に指定されるなど地域の産業や生活を支える重要な道路である。 しかしながら、事業区間においては、沿道に商店や住宅等が多い市の中心部に位置し、歩行者・自転車の通行が多いにもかかわらず歩道等が未整備であるほか、県道大田原氏家線が交差する神明町交差点には右折車線がなく、朝夕を中心に交通渋滞が発生している。 本事業により、安全で円滑な通行を確保し、広域的な交流・連携の促進と県土の防災力強化を図るものである。								
R2年度事業化		S33年度都市計画決定 (R4年度変更)		R2年度用地着手		R4年度工事着手		
全体事業費		約32億円		事業進捗率	約29%	供用済延長	— km	
計画交通量		14,800台／日						
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 17/ 25 億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 29/ 29 億円		基準年	
	1.2	4.7%	(事業費: 16 / 24 億円)		(走行時間短縮便益: 22/ 22 億円)		令和6年	
	1.9 [2%]		(維持管理費: 0.69/0.69 億円)		(走行経費減少便益: 6.5 / 6.5 億円)			
	2.6 [1%]		(更新費: - / - 億円)		(交通事故減少便益: 0.62/0.62 億円)			
	(残事業)	(残事業)	感度分析	(事業全体)		(残事業)		
	1.7	7.5%	交通量	B/C=1.04～1.3(±10%)		交通量	B/C=1.5～1.9(±10%)	
	2.7 [2%]		事業費	B/C=1.1～1.2(±10%)		事業費	B/C=1.6～1.9(±10%)	
3.8 [1%]	事業期間		B/C=1.1～1.2(±20%)		事業期間	B/C=1.7～1.7(±20%)		
事業の効果等								
・安全な通行空間の確保による交通事故の減少(過去10年間に約15件の事故が発生)。 ・広域的な交流・連携の促進と地域の産業支援。 ・無電柱化による魅力ある街並み形成と防災機能の強化。								
関係する地方公共団体等の意見								
・都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている。 ・関係市である大田原市から、本事業の早期完成の要望活動が行われている。								
事業評価監視委員会の意見								
栃木県公共事業評価委員会において審議を経て、事業継続が妥当と判断。								
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等								
周辺環境等に特に変化はない。								
事業の進捗状況、残事業の内容等								
用地進捗率約36%、事業進捗率約29%								
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等								
残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、工事を推進していく。								
施設の構造や工法の変更等								
・電線共同溝の整備にあたり、浅層埋設方式などの低コスト手法を採用することで、コスト縮減を図る。 ・再生材の利用や建設発生土の公共工事間流用に努め、コスト縮減を図る。								



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([]内は社会的割引率の値)